

# 大久保駐屯地創立64周年及び 第4施設団創隊60周年記念行事



若さ溢れる新隊員の観閲行進



荣誉礼を受ける駐屯地司令



発行：大久保自衛隊協力会  
陽融会  
大久保駐屯地桃友会  
45会

編集：第4施設団本部  
第1科広報班

印刷：進見堂印刷

駐屯地司令要望事項  
即応と信頼  
紙面紹介

1面  
・大久保駐屯地創立64周年及び第4施設団創隊60周年記念行事  
・令和3年度大久保駐屯地司令感謝状受賞者紹介  
・令和3年度第3師団長感謝状受賞  
・令和3年度防衛モニター藤森佳人氏就任

2面・3面  
・各部隊訓練等記事

4面  
・部隊長随筆  
・最先任の一言  
・新隊員前期教育修了  
・転入部隊長等紹介  
・定年退官者紹介  
・編集後記



大久保駐屯地ホームページ  
大久保駐屯地広報紙「やましろ」  
令和3年度1四半期号  
No. 13

大久保駐屯地（駐屯地司令 坂元秀明陸将補）は、緊急事態宣言下ではありましたが、令和3年5月29日（土）、「大久保駐屯地創立64周年及び第4施設団創隊60周年記念行事」を、新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、今回は一般開放はせず、京都府地方協力本部等と連携して募集対象者を招待し、2年振りに開催しました。

記念式典の式辞において駐屯地司令は、「2年振りに記念行事を開催できる喜び、地域の方々、諸先輩方への謝意、昨今の国内外情勢を踏まえた隊員に対する要望と駐屯地としての決意を述べました。

記念行事は整齊と観閲行進及び災害派遣の場を想定した訓練展示を実施し、記念式典に先立ち、招待者に対し生活環境研修（浴場、厚生センター、隊員食堂、営内隊舎）及び装備品展示（07式機動支援橋、92式浮橋等）を実施し、普段見ることの出来ない隊員の生活場所や装備品を見て頂きました。

募集対象者からは、「自衛隊の生活内容を知ることができた。」「写真で見かいた事がなかった装備品を直接見る事ができて更に興味を持ちました。」等の声を頂く等、盛況であり、入隊意欲の向上に寄与する事ができました。

加えて、「自衛隊の活動を式典等を通じて見ることができ、大変良かったです。」「大久保駐屯地公式ツイッターの投稿で、息子が観閲行進で堂々と歩いている姿を見て、親として誇らしく思いました。」など多くの好意的なご意見をいただき、大きな励みとなりました。」など多くの好意的な来年こそ是非、皆様にお越し頂きたいと思っています。



募集対象者見学会（隊員居室）



装備品展示



国旗に対し敬礼（着剣捧げ銃）



巡閲



観閲行進



訓練展示

## 令和3年度 大久保駐屯地司令 感謝状受賞者紹介

令和3年度大久保駐屯地司令感謝状受賞者（国防の重要性と自衛隊の任務に深い理解、駐屯地の充実発展に寄与した功績）を紹介します。

例年であれば、駐屯地創立記念行事にあわせ感謝状贈呈式を実施するところ、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ贈呈式を中止とさせて頂いたまま、改めて別日を設定し、受賞者の方々に感謝状をお渡ししたいと考えております。

受賞された14名の皆様、改めて誠におめでとうございます。

大久保駐屯地司令感謝状受賞者	
久御山協力会	澤野 和 嗣
八幡市協力会	橋本 正 勝
宇治田原協力会	木谷 喜 六
木津川協力会	三 樹 正 行
小倉協力会	井上 諭
京田辺協力会	寺本 安 一
青年部	中西 秀 友
陽融会	西尾 善三郎
大久保駐屯地桃友会	堀江 洋 一
45会	中畑 昌 三
くりくま会	迫田 一文
さきがけ会	南部 登志子
	伊田 俊 二
業務諸隊OB会	溝上 昭 人

## 令和3年度第3師団長 感謝状受賞

令和3年5月15日（土）、「大久保駐屯地桃友会会長（松田篤彦氏）」は、第3師団長から、「我が国の防衛と自衛隊の活動に対する深い理解のもと、防衛基盤の育成に尽力するとともに、地域の方々の自衛隊に対する理解促進に努め、部隊の充実発展と隊員の士気高揚に貢献した功績」により感謝状を受賞しました。

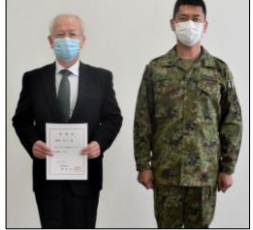
松田会長は、「大久保駐屯地の充実発展に諸先輩が脈々と御尽力されてきたお陰で受賞させて頂いたものだ。ため感謝申し上げます。大久保駐屯地並びに桃友会の発展のため益々、努力を傾注する所存です。」と受賞の喜びを語られました。



大久保駐屯地桃友会  
会長 松田篤彦氏



駐屯地司令より委嘱状の伝達



藤森佳人氏（写真左）

## 令和3年度防衛モニター 藤森佳人氏就任

令和3年4月9日（金）、令和3年度防衛モニター委嘱式が行われ、防衛モニターに就任された藤森佳人氏に駐屯地司令から防衛事務次官からの委嘱状が伝達されました。藤森氏からは「防衛モニターとして自衛隊、駐屯地に協力していきたい」とのお言葉もいただきました。

また同日、令和元年度防衛モニター終了式も行われ、令和元年度防衛モニター「泉村夢織氏」に駐屯地司令より在任間の活動に対する謝辞が伝えられました。

# 各 部 隊 訓 練 等 記 事



道路障害作業車による障害構成



地雷埋設による障害構成



剣山採石場開設・運営



幹線・支線道路整備における置換(運土)作業



ドーザによる対戦車壕構築



油圧ショベルによる対戦車壕構築



施設調整所開設・運営



油圧ショベルを用いた沈砂池排砂作業

群は、令和3年4月11日(日)から26日(月)までの間、日本原演習場及びむつみ演習場において、第13旅団が担任・実施する令和3年度方面隊統制演習春季整備等を全般支援しました。

日本原演習場においては、第380施設中隊及び第382施設中隊が、剣山採石場開設・運営、幹線・支線道路等整備及び沈砂池南側展開地造成整備を実施し、むつみ演習場においては第381施設中隊が、幹線・支線道路等整備及び天王山新設道見積りを実施しました。

この際、方面隊として初めて13旅団整備施設調整所を開設・運営し、日本原演習場整備に係る施設事項の現況把握・調整・統制を実施し、日本原整備隊の任務達成のために邁進しました。

本演習場整備間、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しつつ、方面隊初の試みとなる施設調整所を運営するとともに、隊務の総合一体化施策として、夜間における施設器材操作訓練、車両操縦訓練を実施する等、様々な課題に挑戦し、訓練基盤の維持・拡充を図り演習場の長期安定使用に寄与しました。

## 第3 施設 大隊

大隊は、令和3年4月1日(木)から15日(木)までの間、寒暖差が激しい長野原演習場の地において、第1次師団統制パトラー戦術訓練に参加しました。本訓練は、対抗方式で実践に近い環境で訓練が出来るものであり、施設大隊からは各中隊の小隊長以下が参加し、真剣勝負に挑みました。

訓練に先立ち、統裁官である師団長は、「人的損耗を局限せよ」「全ての最大限発を使い切れ」「装備品の能力を最大限発揮せよ」の三点を要望されました。

参加した隊員からは「普通科の戦い方をよく理解するとともに他の職種と連携することが勝利につながることを実感した。」「状況間は雨風の影響が大きい中であつたが、分隊長の適切な指揮により任務を完遂することが出来た。」といった所見が述べられました。

今回のパトラー訓練を通じ大隊としても、敵を意識した行動、指揮の継承、継続的な見積りと状況判断の重要性等多くの教訓を得ることができました。

## 第7 施設 群

大隊は、令和3年4月15日(木)から27日(火)までの間、長池演習場において令和3年度前期長池演習場整備(長池整備隊長 川田2佐)を実施しました。本整備において、架構中隊は演習場内の立木の伐採・伐根及び運搬作業を実施した後、中型ドーザ等の機械力をもって車両等の通路を構成して、新たな集結適地を整備しました。

また、特殊器材中隊は、立木の伐採等により敷地の拡張、油圧ショベル、マカダムローラー等により整地作業を実施し、部隊がより実地的な訓練ができるよう障害構成適地を整備するとともに、幹線・支線道路の維持管理のためのグレーダ等による整備も実施しました。

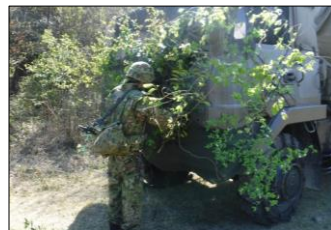
この際、若年隊員達は、1年前の令和2年度後期長池演習場整備での経験を活かして、先輩隊員達とともに、額に大粒の汗を流し、整備任務に打ち込みました。春の暖かさを感じる中、約2週間と長期にわたる整備期間でしたが、整備に支障をきたす事故等は1件もなく、無事に任務を完遂しました。



障害構成適地拡張整備



集結適地整備



車両に対する偽装及び遮光



車両に対するタイヤチェーン装着



幹線道路整備



障害構成適地拡張整備



出動準備訓練における車両準備



整備隊長による命令下達

器材隊は、令和3年4月15日(木)から27日(火)までの間、長池演習場において令和3年度前期長池演習場整備(長池整備隊長 川田2佐)を実施しました。本整備において、架構中隊は演習場内の立木の伐採・伐根及び運搬作業を実施した後、中型ドーザ等の機械力をもって車両等の通路を構成して、新たな集結適地を整備しました。

また、特殊器材中隊は、立木の伐採等により敷地の拡張、油圧ショベル、マカダムローラー等により整地作業を実施し、部隊がより実地的な訓練ができるよう障害構成適地を整備するとともに、幹線・支線道路の維持管理のためのグレーダ等による整備も実施しました。

この際、若年隊員達は、1年前の令和2年度後期長池演習場整備での経験を活かして、先輩隊員達とともに、額に大粒の汗を流し、整備任務に打ち込みました。春の暖かさを感じる中、約2週間と長期にわたる整備期間でしたが、整備に支障をきたす事故等は1件もなく、無事に任務を完遂しました。

## 第102 施設 器材 隊

本訓練は、出動準備訓練を主に燃料及び糧食の受領・積載、整備支援器材の積載を実施し、作戦準備に資する時間的な指標を確認しました。

野外訓練では、偽装及び車装変換・進入訓練を実施し、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について練度の維持・向上を図りました。

訓練間、隊員一人ひとりが真剣に訓練に臨み、所望の成果を得るとともに、異状なく訓練を終了しました。

大隊は、今回の訓練で明確になった問題点を次回訓練で改善し、何時如何なる状況においても、第4施設団及び団直轄部隊を支援するべく更なる練度向上を図り、隊員一人となり邁進して参ります。

## 第104 施設 直接 支援 大隊

大隊は、令和3年4月4日(日)から6日(火)までの間、河本2尉以下33名は、大久保駐屯地及び長池演習場において、出動準備から野外における作戦状況下の一連の行動について訓練を実施しました。

本訓練は、出動準備訓練を主に燃料及び糧食の受領・積載、整備支援器材の積載を実施し、作戦準備に資する時間的な指標を確認しました。

野外訓練では、偽装及び車装変換・進入訓練を実施し、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について練度の維持・向上を図りました。

訓練間、隊員一人ひとりが真剣に訓練に臨み、所望の成果を得るとともに、異状なく訓練を終了しました。

大隊は、今回の訓練で明確になった問題点を次回訓練で改善し、何時如何なる状況においても、第4施設団及び団直轄部隊を支援するべく更なる練度向上を図り、隊員一人となり邁進して参ります。

第 3 0 7 ダンプ車両中隊



被拘束者捕虜収容所構築



至近距離射撃

中隊は、令和3年5月13日(木)から22日(土)までの間、日本原演習場、大久保駐屯地及び守山駐屯地において、令和3年度第1回団統制訓練を、総合訓練の場として駐屯地における出動準備(法令教育、至近距離射撃)、作戦地域への前進、夜間の集結地占領、指揮所の開設・運営、夜間支援構築の一連の行動無事訓練を終了することができました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、一部訓練に制限を受けたものの、各原演習場の暗夜に任務達成に邁進し、日本原演習場の暗夜に夜間操縦技術の向上を図るとともに、武力攻撃予測事態下での各種権限に基づく行動練度及び若年隊員の操縦練度向上により、車両専門部隊としての基盤的能力を向上させることができました。

最終日の21日(金)、大久保駐屯地において、被拘束者捕虜収容所施設の構築を実施し、小隊の現時点の練度を把握し、訓練諸元を収集して計画の作成、練成訓練等においての資を得るとともに、被支援部隊のニーズに対する意識付けを行うことができました。今後の意識訓練に反映し、隊員一人ひとりの更なる意識・技能の向上に努め、自信と誇りに満ちた中隊となるべく邁進していきます。

第 4 施設 団本部付隊



野外炊事



応急出動準備

団本部付隊は、令和3年5月16日(日)から5月21日(金)までの間、第1回団統制訓練において、応急出動準備、車両行進、指揮所開設・維持・運営、野外炊事等を一連の行動において演練しました。16日(日)、隊本部班に非常呼集を発令し、全隊員の登庁後、状況説明、応急出動準備命令の下達、装備品の車両への積載、携行物品の準備を実施し、指揮官準備後に補備修正を実施し、翌日に出動準備を完了しました。

18日(火)、伊丹駐屯地に向け前進を開始し、伊丹駐屯地までの予備経路を掌握しつつ、行進規律を維持し、整斉と移動を完了しました。

指揮所の開設においては、団本部付隊内の認識を統一し、指揮所における内部配置を検証するとともに、指揮所の開設・運営を一連の行動で演練しました。

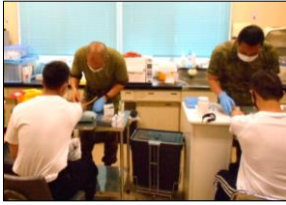
また、炊事経験の浅い隊員を野外炊事に参加させ、実体験を通じて隊本部の炊事能力の向上を図りました。

本訓練において応急出動から指揮所開設までの一連の行動をするとともに、各種の検証及び問題点の改善を通じ練度向上を図ることができました。

大久保駐屯地業務隊



外来宿舎の自隊整備



曹候補生の健康診断

業務隊は、松山駐屯地に所属する第110教育大隊が担任する令和3年度一般陸曹候補生約180名の隊員の前期教育を支援しています。

特に、教育専門施設のない大久保駐屯地で隊員の生活環境を良好に保つため、居室の準備や教育基盤の維持・整備を教育大隊と連携し、自らの駐屯地整備は自らの手で、を合言葉に業務隊統一整備の一環として、他駐屯地からの部隊を受け入れる外来宿舎の壁やドア等の塗装作業を実施しました。遠方から大久保駐屯地にお越しの部隊に対して、心ばかりの「おもてなし」ではあります。気持ち良くお過ごし頂ければとの思いで整備をしたところです。

大久保駐屯地業務隊は、引き続き部隊・隊員のより良い生活及び勤務環境整備のため、隊一丸となって基盤の維持・整備に取り組みます。

第 3 後方 支援 連隊



警戒中の隊員



バケットローダの故障整備

施設整備隊は、令和3年4月14日(水)から27日(火)の間、青野ヶ原演習場及びあいはら野演習場において演習場整備に参加しました。本整備間、隊はバケットローダ、草刈り機、チェンソー等の故障整備を実施し、整備員は故障整備の状況を把握して、迅速に故障排除して稼働率向上に寄与しました。

また、隊は令和3年4月7日(水)から9日(金)及び5月15日(土)から18日(火)の間、青野ヶ原演習場において隊訓練を実施しました。

本訓練は6月に受関する大隊検閲に向けての訓練であり、部隊訓練から一連の動作を実施し、経験が少ない陸士隊員や新配置隊員をはじめとする全隊員の認識統一を図るため演練しました。

今までの訓練での改善事項を更に見直し、大隊検閲に向け部隊一丸となり実施することができました。これまでの成果を発揮し、概ね優良の評価を獲得できるように頑張っていきます。

第 3 1 8 基地通信中隊大久保派遣隊



サイバー攻撃対処訓練



格闘訓練 (防衛の基本は体力から)

派遣隊は、令和3年6月7日(月)から11日(金)までの間、令和3年度第1回中隊訓練に参加しました。

前半は、格闘訓練と救急法を練成して検定に挑み、戦闘能力の向上を図りました。

後半においては、サイバー攻撃対処訓練や新たな基地通信技能の練成を集中的に実施しました。

記憶に新しいところでは、2度にわたる米国の対するランサムウェアと呼ばれるサイバー攻撃があります。この身代金要求型マルウェアによって、米国の巨大都市の一部のライフラインが壊滅的な被害を受けたことは、衝撃的なニュースでした。

日本も、今まさにサイバー攻撃の脅威に晒されています。

我々通信科の隊員は、第5の戦場と呼ばれるサイバー空間で戦っています。フィジカルな戦闘と頭脳戦、従来の戦場と電脳空間というハイブリット戦闘の両面で戦うため、日夜練成しています。

第 3 9 7 会 計 隊



射撃中



射撃用意、撃て！

会計隊は、デスクワークのみで訓練はしていないのではないかと、という印象を持たれている方も少なくない印象です。5月まで、長い年度末業務(実戦)に集中しなければなりません。しかし、会計隊も後方支援職種として必要な日々の体力練成は勿論のこと、各種訓練・検定を実施しています。

我が身を守り、敵を倒す射撃能力は会計隊にとっても非常に重要であり、多数ある検定の中でも、隊員一人ひとりの行動が事故に結びつく可能性があるとこの点では小銃射撃検定は、特に厳正な勤務及び安全管理がされます。

このような検定においても、訓練事故を起こすことなく、一定の成果をあげることができました。今後も、着意ある訓練・検定を行い、国民に信頼され、真に必要なとされる会計隊となるべく日々精進していきます。

部隊長随筆 最先任の一言



第4施設団本部付隊 付隊長 1等陸尉 中田聡一郎



第104施設直接支援大隊 最先任上級曹長 陸曹長 坂本 智康

「成功体験」

誰でも人生において、あることに成功し、達成感(満足感)や自信を得た体験をしたことがあると思います。

例えば、我が家の3歳になる息子は、悩みながらも初めて4ピースのパズルを完成させてからは、一人で何度も挑戦し、やがて組み立てるのが早くなると、更にピース数の多いパズルにも取り組み、今では100ピースを超えるパズルも完成させてしまっています。このように成功体験を繰り返すことにより、自発的に行動・挑戦し、どんどん上達していきました。

翻って我々自衛官の教育訓練においても、成功体験は能力の向上に有効な手段だと思えます。目標を立てて(パズルの完成)努力を集中(悩みながら組み立て)し、その目標を達成することにより、達成感と自信を得て、更に高い目標(ピース数の増加)に向けて自発的に行動・挑戦する。管理の参考にも「人間が能力を十分発揮するのは、自ら達成したいと思う目標を持つときである。」とある通り成功体験に基づく目標設定は能力の向上・発揮にとっても効果が高いと思います。まだまだ、部隊長としては駆け出しの私ですが、隊員にも多く成功を体験させ、満足感と自信の付与、個人・部隊の能力の向上と幸福感の充実に努めたいと思います。

「SNSの適切な使用について」

最近になって携帯電話をスマートフォンに替えましたが、とても便利です。調べたい事や探したい物がすぐに分かり、とても楽になったと実感しています。さて、皆さんの中には、スマートフォンでLINEやツイッター等のSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)と呼ばれるコミュニケーションツールを利用している方もいるかと思えます。手軽に利用できる友人・知人等とも情報共有が出来ることは素晴らしいことですが、大久保駐屯地の開設しているツイッターにはフォローが6,400人居るのを見ると色々な方々と繋がっているなど思えます。

この手軽にできるSNSですが、情報が共有するということは情報が拡散してしまうということに繋がってきます。ちょっとした書き込みや投稿した画像等が個人情報等の不適切な情報であった場合、良かれと思っただけであったことが、自衛隊を応援してくれている大勢の方々に対する信頼を失墜させてしまうことがあります。私たち自衛隊員はどんな小さな情報であっても発信する情報の管理をしっかりと行い、部外の方々と楽しく交流できるように気を付けてSNSを使用して行きましょう。

転入部隊長等紹介



第4施設団本部高級幕僚 伊藤1佐 (01B) 好きな食べ物: パンケーキ



大久保駐屯地業務隊長 宿久1佐 (89B) 好きな食べ物: 和食全般



第4施設団本部付隊長 中田1尉 (111) 好きな食べ物: わらび餅



第307タンク車両中隊長 木村3佐 (061) 好きな食べ物: 抹茶ぜんざい

令和3年3月15(月)の定期異動により、大久保駐屯地業務隊長として宿久1佐が第2陸曹教育隊(仙台)から、第4施設団本部高級幕僚として伊藤1佐が教育訓練研究本部(目黒)から、第307タンク車両中隊長として木村3佐が第6施設群本部管理中隊(豊川)から、第4施設団本部付隊長として中田1尉が第4施設団本部第3科からそれぞれ着任されました。また、3月30日(火)の時駐屯地朝礼で64名の転入者が紹介され、今後の意気込みを語りました。それぞれの部隊に新たな風を吹き込み、ご活躍されることを祈念します。

新隊員前期教育修了!



初射撃「ガク引きに注意!」



基本教練「敬礼!」



格闘訓練「一撃必殺!」



戦闘訓練「ほふく前進、前へ!」



行進訓練(10km)「敵を意識せよ!」



修了式「元気に頑張れ!」

第110教育大隊第333共通教育中隊は、令和3年3月29日(火)から令和3年6月26日(土)までの間、第17期一般曹候補生課程前期教育を担当・実施しました。171名の新隊員は前期教育期間中、基本基礎となる様々な訓練を受け、自衛官として必要な資質の涵養に努めました。今後新隊員はそれぞれの職種部隊で後期教育を受け、前期教育で得た困難に打ち勝つ忍耐力・同期との絆を胸に、若さ武器に活躍することが期待されます。

定年退官者紹介

永年の勤務お疲れ様でした!



宮崎曹長



水津1曹



平井准尉

部隊名	階級 氏名	退官日
第3施設大隊	陸曹長 宮崎 英彰	令和3年4月26日
第104施設直接支援大隊	1等陸曹 水津 俊男	令和3年5月8日
大久保駐屯地業務隊	准陸尉 平井 勲	令和3年6月21日

編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」ご愛読の皆様、いつもありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響が冷めやらぬ中、令和3年度も訓練最盛期となりました。地記念行事を開催できたことを喜び、引き続き感染症対策を万全に行き、健康第一で各種訓練等に臨んでいきたいものですね。最後になりますが、令和3年度も引き続き、大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対し、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。(やましろ担当 丸山2曹)



大久保駐屯地 Twitter